

(別添1)

No.	42
策定年月	令和2年4月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画

長崎県

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

本県での耕地面積に占める水田面積の割合は、45.7%と全国平均の54.4%と比べ低く、米の1戸当たりの作付面積(H27)は、0.6haと零細農家が多い現状であり、平年単収は、九州で下位であり、生産費は高位と、作付規模が小さく、収益性が低く、年々、米の作付面積と産出額は減少している。

このような中、本県では、H23年度から園芸品目における産地計画を策定し、園芸経営体の育成、マーケットイン対策を実践する産地の育成・強化及び加工・業務用ニーズ等に応じた新産地の育成に取り組んだ結果、園芸産出額が816億(H23)から927億(H27)へと増加するなど着実に園芸産地の拡大につながっているところであるが、農地の利用調整の不調により、まとまった農地の確保ができない案件や、園芸施設の分散、小区画・不整形地であることから効率的な園芸利用が図られていない状況である。

そこで、H30年度に、水田における園芸団地等産地拡大推進方針を策定し、令和7年度の園芸産出額1,000億円(チャレンジ1,000億推進計画)の達成のため、水田への園芸品目作付面積を、令和7年度までに500ha拡大達成を目的として取り組む。

特にブロッコリーについては、高品質で市場の需要があるため、水田の裏作として県内全域で推進を図っている。

2. 目標

(1) 推進方針

長崎県として、当面は以下の品目（ブロッコリー、ばれいしょ等）について、重点品目として位置付け、栽培技術の確立などの取組を行うことで生産性向上を図りつつ、26産地の創出を進める。また、長崎県全体では、市町村段階で水田農業高収益化推進プロジェクトチームを設置し、高収益作物導入の重要性や支援制度について周知するとともに、平成30年度に農林業・農山村全体の所得向上を図るために策定した「チャレンジ園芸1000億推進事業」における事業計画に基づき、令和7年度の水田への園芸品目作付面積を500ha拡大（畑地化面積300haを含む）することを目標とする。

(2) 推進品目

品目名	用途	露地 ／ 施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ブロッコリー	生食用	露地	栄養価が高く、調理が簡単であることから堅調な消費需要があり、市場より安定供給を求められている品目である。また、県のチャレンジ園芸1,000億推進計画で重点品目に位置づけ、スマート農業技術等を活用した安定供給の出荷体制の実現を目指し、産地拡大を推進している品目である。	1.50 ha (令和元年)	22.4 ha (令和10年)	901 kg/ 10a (令和元年)	1,072 kg/ 10a (令和10年)	4,655,786 円 (令和元年)	82,599,061 円 (令和10年)		
秋ばれいしょ	生食用	露地	長崎県は、ばれいしょの出荷量が全国3位と主産県のひとつであり、販売先やロットの確保は問題ない。しかし近年、栽培者の担い手不足等により産地規模は減少傾向にある。当計画による栽培面積の増加は産地の維持に寄与するもので、既存産地との需給バランスに影響を与える規模ではない。また、県のチャレンジ園芸1,000億推進計画で重点品目に位置づけて産地拡大を推進している品目である。	0 ha (令和元年)	1.5 ha (令和6年)	0 kg/ 10a (令和元年)	1,957 kg/ 10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	3,199,695 円 (令和6年)		
ばれいしょ	生食用	露地	長崎県は、ばれいしょの出荷量が全国3位と主産県のひとつであり、販売先やロットの確保は問題ない。しかし近年、栽培者の担い手不足等により産地規模は減少傾向にある。当計画による栽培面積の増加は産地の維持に寄与するもので、既存産地との需給バランスに影響を与える規模ではない。また、県のチャレンジ園芸1,000億推進計画で重点品目に位置づけて産地拡大を推進している品目である。	0.2 ha (令和元年)	3.2 ha (令和3年)	1,915 kg/ 10a (令和元年)	3,400 kg/ 10a (令和3年)	347,434 円 (令和元年)	17,081,600 円 (令和3年)		
かぼちゃ	生食用	露地	市場より安定供給を求められている品目であり、県のチャレンジ園芸1,000億推進計画で重点品目に位置づけて産地拡大を推進している品目である。	0.1 ha (令和元年)	7 ha (令和6年)	667 kg/ 10a (令和元年)	1,324 kg/ 10a (令和6年)	172,753 円 (令和元年)	18,098,724 円 (令和6年)		
たまねぎ	生食用	露地	本県におけるたまねぎは、極早生種や早生種を用いた早期出荷やつり玉による貯蔵出荷に加え、加工業務用途向けと多様な作型による有利販売に取組んでおり、販売先やロットの問題はない。また、県のチャレンジ園芸1,000億推進計画で重点品目に位置づけて産地拡大を推進している品目である。	1.28 ha (令和元年)	6.05 ha (令和6年)	4,373 kg/ 10a (令和元年)	4,498 kg/ 10a (令和6年)	5,246,614 円 (令和元年)	25,929,052 円 (令和6年)		
たまねぎ	加工・業務用	露地	本県におけるたまねぎは、極早生種や早生種を用いた早期出荷やつり玉による貯蔵出荷に加え、加工業務用途向けと多様な作型による有利販売に取組んでおり、販売先やロットの問題はない。また、県のチャレンジ園芸1,000億推進計画で重点品目に位置づけて産地拡大を推進している品目である。	0 ha (令和元年)	4.7 ha (令和6年)	0 kg/ 10a (令和元年)	3,739 kg/ 10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	17,573,300 円 (令和6年)		

品目名	用途	露地 ／ 施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
アスパラガス	生食用	施設	市場より安定供給を求められており、県下全域で栽培されている品目である。近年、作付面積が減少傾向であるため、産地の維持が必要となっており、県のチャレンジ園芸1,000億推進計画で重点品目に位置づけて産地拡大を推進している品目である。	0 ha (令和元年)	0.5 ha (令和6年)	0 kg/ 10a (令和元年)	1,632 kg/ 10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	7,874,400 円 (令和6年)		
レタス	生食用	露地	一人当たりの購入量が伸びており、市場より安定供給を求められている品目である。本県では作付面積、出荷量ともに増加傾向であり、県のチャレンジ園芸1,000億推進計画で重点品目に位置づけて産地拡大を推進している品目である。	0 ha (令和元年)	0.7 ha (令和6年)	0 kg/ 10a (令和元年)	3,331 kg/ 10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	3,077,844 円 (令和6年)		
キャベツ	加工・業務用	露地	一人当たりの購入量が野菜の中で最も多く、市場より安定供給を求められている品目であるが、県内では産地が少ないため、県のチャレンジ園芸1,000億推進計画で重点品目に位置づけて産地拡大を推進している品目である。	2 ha (令和元年)	6.3 ha (令和4年)	3,605 kg/ 10a (令和元年)	5,600 kg/ 10a (令和4年)	3,085,880 円 (令和元年)	15,099,840 円 (令和4年)		
トマト	生食用	施設	市場より安定供給を求められている品目であり、県としても面積の拡大等を図り、産出額の増加を目標としている品目である。また、県のチャレンジ園芸1,000億推進計画で重点品目に位置づけて産地拡大を推進している品目である。	29 ha (平成29年)	30 ha (令和2年)	11,465 kg/ 10a (平成29年)	11,667 kg/ 10a (令和2年)	1,379,350,000 円 (平成29年)	1,511,000,000 円 (令和2年)		
ほうれんそう	加工・業務用	露地	県内の実需者より、県内産の供給要望がある品目である。	0 ha (令和元年)	1.0 ha (令和5年)	0 kg/ 10a (令和元年)	3,842 kg/ 10a (令和5年)	0 円 (令和元年)	2,305,200 円 (令和5年)		

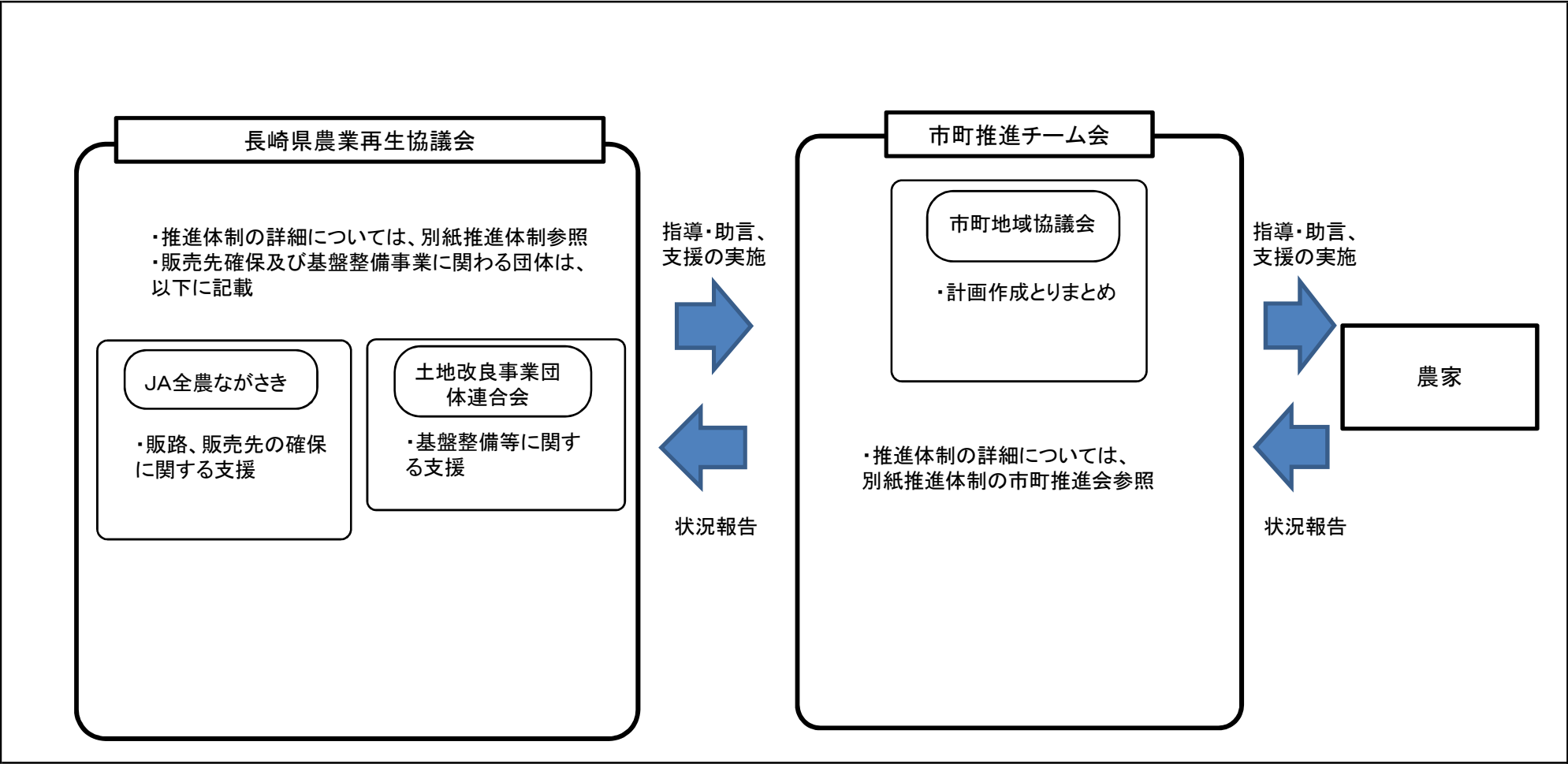
※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。

※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できるかなどの観点にも留意して記載する。（関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求めることがある。）

※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

市町推進チーム会の園芸導入推進チームが主体となって、産地計画を策定したJA部会など園芸産地等を対象に園芸農家の規模拡大や団地化の意向を収集する。また、農地利用調整チームが主体となり、農地利用最適化推進員と連携し、集落協定の代表者や土地改良区、集落営農組織等に水田の利用状況、担い手動向、出入作の状況などの農地情報を収集し、園芸品目拡大推進については、推進チーム会で、導入品目の検討、担い手の作付意向、産地内の合意形成、品種選定・出荷先の確保、実証による排水対策や栽培技術確立推進、機械・施設のリース方式による導入を推進する。

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
ブロッコリー	市町推進チーム会を主体とし、作付拡大の推進、普及活動に取組む	収量の向上のため、下記の対策に取組む。 1. 排水対策：額縁明きよ、暗きよ、高畦 2. 酸度対策：pH5.8～6.8目標 3. 土壌物理性改善：有機物投入 4. 土壌病害（根こぶ病）対策：酸度矯正、薬剤施用	生産者組織とJAや実需者、関係機関と連携した検討を行い、氷詰めなどによる品質向上対策等や販路拡大に取組む。	
ばれいしょ	市町推進チーム会を主体とし、作付拡大の推進、普及活動に取組む	収量の向上のため、下記の対策に取組む。 1. 排水性改善：短冊畦・高畦検討 2. 土壌物理性改善：有機物投入 3. 病害虫対策：品種選定、輪作、緑肥 4. 霜害対策（春作）：べたがけ資材利用 5. 腐敗対策（秋作）：適期植付。	生産者組織とJAや実需者、関係機関と連携した検討を行い、霜害対策や腐敗対策を実施による品質向上対策や販路拡大に取組む。	
かぼちゃ	市町推進チーム会を主体とし、作付拡大の推進、普及活動に取組む	収量の向上のため、下記の対策に取組む。 1. 排水対策：額縁明きよ、暗きよ 2. 土壌物理性改善：有機物投入 3. 病害対策（疫病）：排水対策の徹底、適期防除 4. 台風対策：防風ネット設置	生産者組織とJAや実需者、関係機関と連携した検討を行い、適期防除や排水対策の徹底による品質向上対策や販路拡大に取組む。	
たまねぎ	市町推進チーム会を主体とし、作付拡大の推進、普及活動に取組む	収量の向上のため、下記の対策に取組む。 1. 排水対策：額縁明きよ、暗きよ、高畦 2. 酸度対策：pH6.3～6.8目標 3. 土壌物理性改善：有機物投入 4. 病害対策（べと病、軟腐病）：排水対策徹底、適期防除	生産者組織とJAや実需者、関係機関と連携した検討を行い、べと病や軟腐病対策の徹底による品質向上対策や機械化による経費節減、販路拡大に取組む。	

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
たまねぎ	市町推進チーム会を主体とし、作付拡大の推進、普及活動に取り組む	収量の向上のため、下記の対策に取り組む。 1. 排水対策: 額縁明きよ、暗きよ、高畦 2. 酸度対策: pH6.3～6.8目標 3. 土壌物理性改善: 有機物投入 4. 病害対策(べと病、軟腐病): 排水対策徹底、適期防除	生産者組織とJAや実需者、関係機関と連携した検討を行い、べと病や軟腐病対策の徹底による品質向上対策や機械化による経費節減、販路拡大に取り組む。	
アスパラガス	市町推進チーム会を主体とし、作付拡大の推進、普及活動に取り組む	収量の向上のため、下記の対策に取り組む。 1. 排水性改善: 暗渠、明渠 2. 土壌物理性改善: 有機物投入 3. 灌水量確保: 貯水槽、ポンプ等の設置 4. 夏季高温対策: 遮熱用資材等活用 5. 台風対策: 防風ネット設置、ハウス補強	生産者組織とJAや実需者、関係機関と連携した検討を行い、灌水対策や夏季高温対策の実施による品質向上と収量増を目指し、販路拡大に取り組む。	
レタス	市町推進チーム会を主体とし、作付拡大の推進、普及活動に取り組む	収量の向上のため、下記の対策に取り組む。 1. 排水対策: 額縁明きよ、暗きよ 2. 酸度対策: pH6.0～6.5目標 3. 土壌物理性改善: 有機物投入 4. 病害対策: 排水対策徹底、適期防除	生産者組織とJAや実需者、関係機関と連携した検討を行い、排水対策の徹底と適期防除の実施による安定供給と販路拡大に取り組む。	
キャベツ	市町推進チーム会を主体とし、作付拡大の推進、普及活動に取り組む	収量の向上のため、下記の対策に取り組む。 1. 排水対策: 額縁明きよ、暗きよ、高畦 2. 酸度対策: pH5.8～6.8目標 3. 土壌物理性改善: 有機物投入 4. 土壌病害対策(根こぶ病): 排水対策徹底、土壌酸度矯正	生産者組織とJAや実需者、関係機関と連携した検討を行い、土壌病害対策の徹底による品質向上対策と、機械化による経費節減、販路拡大に取り組む。	
ほうれんそう	市町推進チーム会を主体とし、作付拡大の推進、普及活動に取り組む	収量の向上のため、下記の対策に取り組む。 1. 排水対策: 額縁明きよ、暗きよ、高畦 2. 酸度対策: pH6.3～7.0目標 3. 土壌物理性改善: 有機物投入 4. 病害対策(べと病): 排水対策徹底、適期防除	生産者組織とJAや実需者、関係機関と連携した検討を行い、機械化による経費節減と加工品の販路拡大に取り組む。	

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1・2	平戸市地域農業再生協議会	平戸市	向月地区、大野地区
3	壱岐地域農業再生協議会	壱岐市	木田地区
4	下五島地域農業再生協議会	五島市	寺脇地区
5	雲仙市農業再生協議会	雲仙市	守山地区、山田地区
6	南島原市農業再生協議会	南島原市	南有馬地区、北有馬地区
7	西海市地域農業再生協議会	西海市	白似田地区
8	波佐見町農業再生協議会	波佐見町	駄野地区

※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

○園芸団地等産地拡大推進体制

長崎県農業再生協議会

事務局：県農林部P

構成：JA 中央会、全農県本部、農業会議、農業共済連、県農林部等

- 県推進方針策定
- 市町推進チーム会への指導・助言
- 指導者向け研修会の開催
- 水田畑地化プラン推進事業集落決定 等

指導・助言、指導力向上支援

進捗状況報告

園芸1億円産地づくり推進会議（JA単位）

構成：JA 営農部長、市町農林関係部(課)長、振興局農林部長等

- 園芸1億円産地育成計画の策定
- 市町推進チーム会の活動への指導や進捗管理等

市町推進チーム会（農地中間管理事業推進チーム会等を活用）

構成：市町、JA、振興局等

リーダー：振興局

- モデル集落の選定
- 各部会の取組等情報の共有化
- 行動計画策定 等

専門チーム

農地利用調整チーム (農地中間管理事業推進チーム会)	園芸導入推進チーム (農業振興協議会技術者会)	圃場整備促進チーム (農地中間管理事業推進チーム会)
リーダー：農業委員会、振興局	リーダー：JA、振興局	リーダー：市町、振興局
●推進地域の選定 ●営農意向調査 ●農地情報の収集 ●営農現況地図化 ●集落話し合い、合意形成 ●農地集約化等 ●ゾーニングの提案 ●直接支払制度の活用提案	●集落話し合い、合意形成 ●担い手等情報収集 ●担い手の明確化 ●園芸転換事業推進 ●推進品目選定 ●営農計画の提案 ●ゾーニングの提案 ●展示圃設置、実証等支援	●集落話し合い、合意形成 ●農地条件整備事業の情報提供 ●事業実施推進 ●事業計画策定支援・協議 ●農地条件整備工事の実施

水田における園芸団地等産地拡大の推進フロー（イメージ）

集落からのアプローチ

市町推進チーム会

- 推進集落選定
- 取組の共有化
- 推進計画策定 等

市町、JA、振興局等関係機関で構成（リーダー：振興局）。
農地中間管理事業推進チーム会等を活用

役割分担（各機関担当対応）

- 農地利用調整（市町、農委、振興局等）
・農地情報の収集、農地集約化等合意形成支援

- 園芸導入推進（JA、市町、振興局等）
・推進品目の選定、担い手農家等情報収集、産地合意形成

- 圃場整備促進（市町、振興局等）
・整備事業の情報提供・推進、事業計画策定協議

農地中間管理機構運営事業（業務委託費）

農地情報収集（300集落）

農地利用最適化推進員との連携による情報収集（担い手の有無、農地提供意向等）
※直近に収集した農地情報があれば共有化）

情報収集対象集落のイメージ

- 土地改良区がある集落
- 集落営農組織がある集落
- 団地化が図れると予測する集落（耕作放棄地活用含）

産地担い手情報収集

産地の担い手への拡大意向を収集（面積、希望地域等）

対象品目のイメージ

- 施設園芸（全県）
- ばれいしょ・レタス（島原）
- ブロッコリー・たまねぎ（全県）
- 果樹（県北）

対象のイメージ

- 対象品目のJA部会員
- 集落営農組織 等

プラン推進対象集落選定

畑地化プラン策定推進

合意形成、マッチング等による集落が策定する水田畑地化プランの策定推進

- 農地利用調査
- 農地条件調査
- マッチング推進
- ゾーニング検討

地域資源管理法 人設立推進

ゾーニング、プランの実践主体となる地域資源管理法等
の設立推進

- 作付計画・ゾーニングへの合意形成、農地利用調整
- 条件整備・施設・機械導入検討
- 地域資源管理法等設立推進
・法人活動計画、農地保全計画
・管理委託等取り決め

プラン策定

地域資源管理人

水田畑地化プラン推進事業

産地・集落での園芸 転換・拡大促進

推進品目実証・技術向上

- 面積拡大への合意形成推進
- 新品目・新技術導入実証
- 排水対策・機械導入実証
- 新技術資材導入
- 生産技術研修 等

園芸作物生産転換促進事業

産地からのアプローチ

県・振興局推進活動

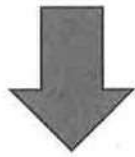
- 水田畑地化方針作成
- 地域PT指導支援
- プラン作成等合意形成支援

「各種支援対策」実施

- 農地中間管理事業
- 条件整備（機構関連事業、FOEAS整備、チャレンジ園芸1000億推進事業等）
- 施設・機械等条件整備
- 優良品種転換、技術支援

水田を活用した園芸 1 億産地計画の実施地区等の掘り起しの手順

1. 園芸 1 億円産地づくり推進会議の設置



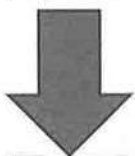
- ・掘り起こしに向けた推進会議、産地づくりの戦略協議、方針決定
- ・構成員：J A 営農部長、市町農林関係部（課）長、振興局農林部長、農業委員会事務局長 等

2. 推進チーム会の設置・運営



- ・役割分担、情報共有、行動計画の策定
- ・構成員：J A、市町、農業委員会、振興局等担当者

3. 地域で振興する品目の選定（何を）



- ・気象・土地条件、市場ニーズ、流通・販売の優位性、販売額に対する作物の規模感、大規模化にあった技術体系、選果・修出荷の体制、雇用環境を考慮

4. 地区・産地の選定（どこで）



- ・水利の状況、排水性、農道など農地情報の収集と地区・産地の選定
- ・生産・出荷（選別・調整）・販売の連携の可能
- ・人・農地プランの実質化の取組と連携し、農地現況図作成

5. 生産拡大を図ろうとする者の明確化（誰に）



- ・J A 部会（既存部会員、新規取組者、集落営農法人）

6. 土地の利用調整、排水対策の検討（どうやって）



- ・土地の利用調整、話し合いの推進
- ・排水対策の事業検討
- ・園芸作物生産転換促進事業の活用検討（栽培実証）

7. 規模拡大に必要な施設・機械のリスト化（どうやって）



- ・個人で保有するもの、共同利用するものなど整理
（作業の効率化、経費節減等の視点）

8. 当該地区の園芸団地の青写真作成



- ・取組後の経営試算（組織経営、個人経営）
必要な経費、販売額、所得など
- ・園芸団地の地図化

9. 水田を活用した園芸 1 億産地計画の作成（いつまでに）

No.	42-001
策定年月	令和2年4月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画 平戸市向月地区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	平戸市地域農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担 構成機関及び役割分担は右図参照	平戸市地域農業再生協議会 ・計画作成の取りまとめ 長崎県県北振興局 ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 平戸市 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ながさき西海農協 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 平戸市農業委員会 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 向月土地改良区 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 ↓ ↑ 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
秋ばれいしょ	生食用	露地	向月地区	0 ha (令和元年)	1.5 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	1,957 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	3,199,695 円 (令和6年)		
ブロッコリー	生食用	露地	向月地区	0.05 ha (令和元年)	0.9 ha (令和6年)	965 kg/10a (令和元年)	1,110 kg/10a (令和6年)	179,973 円 (令和元年)	3,726,270 円 (令和6年)		
かぼちゃ	生食用	露地	向月地区	0.1 ha (令和元年)	3.1 ha (令和6年)	667 kg/10a (令和元年)	1,430 kg/10a (令和6年)	172,753 円 (令和元年)	11,481,470 円 (令和6年)		
たまねぎ	生食用	露地	向月地区	0 ha (令和元年)	1.7 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	4,030 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	6,439,940 円 (令和6年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	42-002
策定年月	令和2年4月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
平戸市大野地区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	平戸市地域農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担 関係機関の役割分担は右図を参照	平戸市地域農業再生協議会 長崎県県北振興局 平戸市 ながさき西海農協 平戸市農業委員会 大野地区土地改良区 ・計画作成の取りまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 ↓ ↑ 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ブロッコリー	生食用	露地	大野地区	0.34 ha (令和元年)	1.73 ha (令和10年)	1,016 kg/10a (令和元年)	1,148 kg/10a (令和10年)	1,115,771 円 (令和元年)	6,414,909 円 (令和10年)		
たまねぎ	生食用	露地	大野地区	0.9 ha (令和元年)	3.25 ha (令和10年)	3,664 kg/10a (令和元年)	4,140 kg/10a (令和10年)	3,429,504 円 (令和元年)	13,993,200 円 (令和10年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	42-003
策定年月	令和2年4月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
壱岐市木田地区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	壱岐地域農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担 構成機関及び役割分担については、右図参照	壱岐地域農業再生協議会 壱岐振興局 壱岐市 壱岐市農協 壱岐市農業委員会 木田圃場整備組合 ・計画作成の取りまとめ ・計画策定の支援 ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 ↓ ↑ 耕作者

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
たまねぎ	加工・業務用	露地	壱岐市農協 たまねぎ部会 木田地区	0 ha (令和元年)	4.7 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	3,739 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	17,573,300 円 (令和6年)		
かぼちゃ	生食用	露地	壱岐市農協 かぼちゃ部会 木田地区	0 ha (令和元年)	3.8 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	1,234 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	6,424,204 円 (令和6年)		
ブロッコリー	生食用	露地	壱岐市農協 ブロッコリー部会 木田地区	0 ha (令和元年)	9.3 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	1,051 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	29,322,900 円 (令和6年)		
アスパラ	生食用	施設	壱岐市農協 アスパラ部会 木田地区	0 ha (令和元年)	0.5 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	1,632 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	7,874,400 円 (令和6年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	42-004
策定年月	令和2年4月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
五島市寺脇地区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	下五島地域農業再生協議会												
構成機関・団体名及び役割分担													
構成機関及び役割分担については、右図参照	<table><tr><td>下五島地域農業再生協議会</td><td>五島振興局</td><td>五島市</td><td>JAごとう</td><td>五島市農業委員会</td><td>寺脇土地改良区</td></tr><tr><td>・計画作成のとりまとめ</td><td>・作付計画策定支援 ・栽培技術等の情報提供 ・各種支援事業の実施</td><td>・地域の合意形成の推進 ・各種支援事業の情報提供、実施</td><td>・販売先の確保 ・営農指導の実施 ・各種支援事業の実施</td><td>・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進</td><td>・基盤整備事業の推進 ・営農委員会による地域内の意見調整 ・土地改良施設の管理</td></tr></table> 耕作者	下五島地域農業再生協議会	五島振興局	五島市	JAごとう	五島市農業委員会	寺脇土地改良区	・計画作成のとりまとめ	・作付計画策定支援 ・栽培技術等の情報提供 ・各種支援事業の実施	・地域の合意形成の推進 ・各種支援事業の情報提供、実施	・販売先の確保 ・営農指導の実施 ・各種支援事業の実施	・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進	・基盤整備事業の推進 ・営農委員会による地域内の意見調整 ・土地改良施設の管理
下五島地域農業再生協議会	五島振興局	五島市	JAごとう	五島市農業委員会	寺脇土地改良区								
・計画作成のとりまとめ	・作付計画策定支援 ・栽培技術等の情報提供 ・各種支援事業の実施	・地域の合意形成の推進 ・各種支援事業の情報提供、実施	・販売先の確保 ・営農指導の実施 ・各種支援事業の実施	・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進	・基盤整備事業の推進 ・営農委員会による地域内の意見調整 ・土地改良施設の管理								

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ブロッコリー	生食用	露地	寺脇地区	0 ha (令和元年)	1.8 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	1,090 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	5,415,120 円 (令和6年)		
かぼちゃ	生食用	露地	寺脇地区	0 ha (令和元年)	0.1 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	1,430 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	193,050 円 (令和6年)		
たまねぎ	生食用	露地	寺脇地区	0 ha (令和元年)	0.1 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	4,058 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	381,452 円 (令和6年)		
レタス	生食用	露地	寺脇地区	0 ha (令和元年)	0.7 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	3,331 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	3,077,844 円 (令和6年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	42-005
策定年月	令和2年4月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
雲仙市守山・山田地区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	雲仙市農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担 関係機関の役割分担は、右図を参照	雲仙市農業再生協議会 ・計画作成の取りまとめ 島原振興局 雲仙地域普及課 土地改良課 ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 雲仙市 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 JA島原雲仙 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 雲仙市農業委員会 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 山田土地改良区守山土地改良区 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ブロッコリー	生食用	露地	吾妻町守山地区	0 ha (令和元年)	2.58 ha (令和3年)	0 kg/10a (令和元年)	1,066 kg/10a (令和3年)	0 円 (令和元年)	11,221,142 円 (令和3年)		
ばれいしょ	生食用	露地	吾妻町守山地区	0 ha (令和元年)	0.2 ha (令和3年)	0 kg/10a (令和元年)	3,400 kg/10a (令和3年)	0 円 (令和元年)	1,067,600 円 (令和3年)		
たまねぎ	生食用	露地	吾妻町守山地区	0 ha (令和元年)	0.34 ha (令和3年)	0 kg/10a (令和元年)	6,500 kg/10a (令和3年)	0 円 (令和元年)	1,745,900 円 (令和3年)		
ブロッコリー	生食用	露地	吾妻町山田地区	0.794 ha (令和元年)	2.249 ha (令和5年)	994 kg/10a (令和元年)	1,066 kg/10a (令和5年)	2,951,742 円 (令和元年)	9,781,530 円 (令和5年)		
たまねぎ	生食用	露地	吾妻町山田地区	0.38 ha (令和元年)	0.656 ha (令和5年)	6,053 kg/10a (令和元年)	6,500 kg/10a (令和5年)	1,817,110 円 (令和元年)	3,368,560 円 (令和5年)		
ほうれんそう	加工・業務用	露地	吾妻町山田地区	0 ha (令和元年)	1.0 ha (令和5年)	0 kg/10a (令和元年)	3,842 kg/10a (令和5年)	0 円 (令和元年)	2,305,200 円 (令和5年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	42-006
策定年月	令和2年4月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
南島原市南有馬・北有馬地区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	南島原市農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担 構成機関及び役割分担は右図参照	南島原市農業再生協議会 ・計画作成の取りまとめ 島原振興局 ・計画作成の支援 ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 南島原市 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、 実施 JA島原雲仙農協 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 南島原市農業委員会 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ↓ ↑ 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
トマト	生食用	施設	ながさき南部生産組合南有馬地区	5 ha (平成29年)	5.5 ha (令和2年)	8,500 kg/10a (平成29年)	9,091 kg/10a (令和2年)	179,350,000 円 (平成29年)	211,000,000 円 (令和2年)		
トマト	生食用	施設	JA島原雲仙大雲仙トマト部会北有馬地区	24 ha (平成29年)	24.5 ha (令和2年)	12,083 kg/10a (平成29年)	12,245 kg/10a (令和2年)	1,200,000,000 円 (平成29年)	1,300,000,000 円 (令和2年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	42-007
策定年月	令和2年4月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
西海市白似田地区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	西海市地域農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担 構成機関・団体の役割分担は右記のとおり	西海市地域農業再生協議会 県央振興局 西海事務所 西海市 長崎西彼農協 西海市農業委員会 西海市 農業振興公社 県南農業共済組合 西彼杵支所 白似田 土地改良組合 ・計画作成の取りまとめ ・支援事業、栽培 技術等の情報提供 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・農地中間管理事業の推進 ・農業共済の推進 ・基盤整備事業 の情報収集 ・土地改良施設 の管理 ↓ ↑ 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ブロッコリー	生食用	露地	大西海ブロッコリー部会白似田地区	0 ha (令和元年)	2.93 ha (令和4年)	0 kg/10a (令和元年)	1,066 kg/10a (令和4年)	0 円 (令和元年)	12,743,390 円 (令和4年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	42-008
策定年月	令和2年4月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
波佐見町駄野地区産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	波佐見町農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担	
構成機関及び役割分担については、右図参照	波佐見町農業再生協議会 県央振興局 波佐見町 長崎県央農協 波佐見町農業委員会 駄野土地改良区 ・計画作成の取りまとめ ・計画作成支援 ・支援事業、栽培技術等の 情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実 施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・基盤整備事業の推進 ・営農委員会による地域内 の意見調整 ・土地改良施設の管理 ↓ ↑ 耕作者

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
キャベツ	加工・業務用	露地	波佐見町駄野地区	2 ha (令和元年)	6.3 ha (令和4年)	3,605 kg/10a (令和元年)	5,600 kg/10a (令和4年)	3,085,880 円 (令和元年)	15,099,840 円 (令和4年)		
ブロッコリー	生食用	露地	波佐見町駄野地区	0.3 ha (令和元年)	1 ha (令和4年)	511 kg/10a (令和元年)	1,110 kg/10a (令和4年)	408,300 円 (令和元年)	3,973,800 円 (令和4年)		
ばれいしょ	生食用	露地	波佐見町駄野地区	0.2 ha (令和元年)	3 ha (令和4年)	1,915 kg/10a (令和元年)	3,400 kg/10a (令和4年)	347,434 円 (令和元年)	16,014,000 円 (令和4年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。